



【書初め揮毫】

令和八年の新春をお慶び申し上げ、ご皇室の弥栄、国の繁栄、世界の平和を祈念致します。

寒暖の差はありましたが、比較的穏やかな天候に恵まれ、多くの皆様にご参拝頂きました事有り難く厚くお礼申し上げます。

本年は午年で、馬は神馬、絵馬という様に十二支の中でも神社との関係は深いと思われまます。世界の不穏な空気を蹴飛ばして、平和な世になる事を願います。

昨年十一月の総会におきまして、当会に多大なるご尽力を頂い

宮司 林 清和

# 新年の御挨拶

天神神社 便り

# 梅香

令和8年1月25日 第78号  
長良天神神社奉賛会

長良天神神社  
ホームページ



た白橋前会長の後を受けて大橋哲也氏が会長に就任されました。新会長のもと益々奉賛会が発展するよう皆様方のご理解ご協力をお願い申し上げます。

正月を迎え思うことは、私たちの祖先は、農業を中心として一年一年を過ごしてきました。年の始めに門松を立てて年神様を迎え、新たな気持ちで一年一年を大切に暮らしてきました。年神様のお徳を頂き一年の安泰と家運の隆昌を祈る習慣をこれからも大切にしたいものです。

さて、神宮では昨年からの第六十三回式年遷宮に向けての準備が始まりました。当県では六月に、ご神木(御樋代木)が県内各地沿道で多くの方々の奉祝奉迎送をうけ、三重県へ引き継がれ、伊勢神宮まで無事運ばれました。これらからご遷宮にむけて御木曳行事・宇治橋渡始式・御白石諸行事などが行われます。皆様方の御奉賛をお願ひ申し上げます。氏子崇敬者並びに奉賛会員の皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年の御挨拶とさせていただきます。

## 氏子総代会

会長	可児 謙典
副会長	村井 英勝
同	杉山 正樹
同	林 正孝
同	石原 弘
同	山川 晃生
同	白木 善久
同	川島 淳二
同	安藤 昌弘
同	杉山 雅彦
同	杉山 善康
同	中島 繁
同	大橋 哲也
同	安藤 淳二
同	白木 基啓
同	市原登志徳
同	中村 修
同	神谷登貴彦
同	早川 利郎
同	井上 秋光
同	栗山 孝祐
同	鈴木 岳志

## 奉賛会

会長	大橋 哲也
副会長 (公計)	清水 憲明
同	大野 保
同	市原登志徳
同	志知 孝一
同	竹村 博之
同	堀田 正和
同	杉山 昌治
同	村橋 義弘
同	木下 昭治
同	後藤 甲平
同	杉山 秀二
同	可児 謙典
同	山川 悦郎

# 謹賀新年

長良天神神社 宮

司 林

禰 宜玉岡

清和

充臣

職員一同



# 年頭の御挨拶

氏子総代会会長 可児 謙典

新年明けまして

おめでとーうございませう

皆様方には目出度く新年の御慶をお納めの事と存じ心からお祝い申し上げます。

奉賛会会員の皆様をはじめ氏子崇敬者の皆様には、日頃より天神社の諸事につきまして、御理解御協力を賜わり有り難く厚く御礼申し上げます。

天神社も氏子崇敬方々の初詣により、力強く賑々しく新年の門出を祝う事が出来ましたことは、まことにご同慶に耐えず、お喜び申し上げます。

特に昨年六月、金神社で行なわれた第六十三回神宮式年遷宮御桶代木奉曳式に参加し、先人の守り伝えて来た伝統行事に触れることができ、改めて感激を深くしたのであります。

今年も丙午年であります。暫らく続いている不況が、今年を出発点とし活気に満ちた明るく豊かな世の中になりますようお祈り申し上げます、これからも天神神社の御社頭の発展と、皆様方の御多幸を祈念致しまして年頭の御挨拶とさせていただきます。

天神社奉賛会会長 大橋 哲也

あけまして

おめでとーうございませう

奉賛会会員皆様方には新年の御慶目出度くお納めのことと存じ、謹んでお喜び申し上げます、平素より格別のご尽力ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年の総会に於いて、皆様のご推挙により、奉賛会会長を拝命いたしました大橋哲也でございます。

会長という重責を担うことになり、改めて長良天神社の歴史と、この地域における奉賛会の役割の重要性を深く感じております。

長良天神社は、学問の神様として崇敬される菅原道真公をお祀りする、由緒ある神社です。日々の暮らしの中で、多くの人々が心を寄せ、この場所で祈りを捧げてきました。その大切な伝統を守り、次世代に引き継いでいくことが、私たち奉賛会の使命だと考えております。

今後は、奉賛会の活動をより多くの皆様を知っていただくための広報活動や、地域の皆様との交流を深めるような取り組みにも力を入れていきたいと考えております。

会長として、皆様の期待に応えられるよう、精一杯努めてまいります。皆様のお力添えなくしては、奉賛会の活動は成り立ちません。

会員の皆様と力を合わせ、長良天神社がいままで地域への心よりどこまであり続けるよう、皆様のご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。

ここに謹んで皆様方の御多幸をお祈りして年頭の御挨拶と致します。

## 奉賛会大祭と

### 総会盛大に開催

十二月二十三日

天神社奉賛会の大祭が役員、氏子総代様姿で齋行され、終了後総会と懇親会が開催された。

今年の参列者は六十五名で、新役員に会長大橋哲也氏、理事後藤甲平氏、理事杉山秀二氏の就任。



【奉賛会大祭 社務所前修祓の儀】

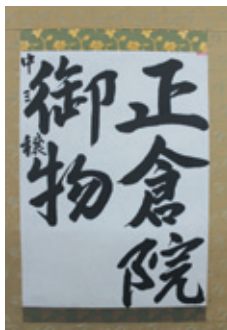
その他の議案もすべて承認され、終了後懇親会が開催された。やかな雰囲気で開催された。

この総会で承認された収支決算次の通りである。

収入	
会費	一、一六五、〇〇〇円
雑入	六〇、三九五円
繰越金	八、八七二円
計	一、二三四、二六七円
支出	
事業費	一、〇七五、四七八円
事務費	一四三、八五六円
会議費	六、四八〇円
繰越金	八、四五三円
計	一、二三四、二六七円

## 内閣総理大臣賞

第五十三回夏期書道展で内閣総理大臣賞を受賞された秋山穰さん。



【内閣総理大臣賞】

## 筆塚祭執行

年二回書道展表彰式に合わせて執行される筆塚祭が八月三十一日午後一時から行なわれた。



【羽田八幡宮拝殿前集合写真】

白梅敬神婦人会が九月二十四日会長白橋美智子をはじめ会員三十七名が恒例の研修旅行に参加した。  
貸し切りバスにて豊橋市の羽田八幡宮に正式参拝し、八幡宮婦人

### 羽田八幡宮参拝旅行



【境内西祈願串、古筆焼納】

十二月二十四日岐阜市の仙田久子さんが参拝者を迎える向拝と拝殿の臥せ牛の首に紅白の絞め飾りを奉納した。

### 臥せ牛の首に紅白の絞め飾り奉納



【お祓いを受ける園児】

園児等元気な参拝  
十一月七・五・三詣でに、ながら幼稚園、サニーサイド幼稚園の園児等が境内に整列し大きな声で通りやんせの歌を元気よく歌い健やかな成長を祈り参拝した。  
園児全員に千歳飴が授与された。



【参集殿書初め大会】

恒例の書初め大会が、正月二日・三日参集殿で開催され、一四七点が出品され、それぞれ年始の希望を込めて達筆を揮った。  
この作品は、公募作品と共に一月二十五日に審査され、神社本庁統理賞、文部科学大臣賞以下各賞が

### 新春書初め大会



【向拝左側親子臥せ牛】



【境内西左義長神事】

左義長の神事斎行  
一月十四日、恒例の左義長神事が境内西側で斎行された。  
午前九時、堆く積み上げられた門松やお正月飾り、古札の前に祭壇が設けられ神事が行なわれ、引き続き拝殿で古来の手法により忌火が起こされ点火された。  
左義長の火は、次々に持ち込まれる正月飾りにより、午後五時まで燃え続いた。

### 左義長の神事斎行

選出される。  
展示会は、二月二十二日～三月一日迄の予定で神社事務所内と境内に全ての作品が展示され、最終日の午後二時から表彰式が行なわれる予定である。

### 主な行事案内

### 節分祭の御案内

期 日 二月三日  
 厄除祈祷 終日  
 祈祷初穂 個人厄祓 五千元  
 家内安全 六千元  
 追儺豆餅撒 午後四時  
 追儺役 要予約 初穂 一万円

### 献詠祭の募集

歌題 「節」 五部門共通  
 部門 短歌・俳句・川柳・狂俳・俚謡  
 献詠祭 三月二十五日午前十二時  
 応募要項  
 原稿用紙・便箋等(部門毎に用紙を別にし、それぞれに部門と歌題住所氏名電話番号を記入)  
 献詠歌 各部門三句迄  
 献詠料 一部門千円也(歌集出版費) 締め切り 二月十五日必着

### 御例祭

四月五日

### みそぎ祭

八月六日

### 夏期書道展

八月二十三日～三十日  
 締め切り 七月十日

### 天神神社

### 挙式・パックのお奨め

厳かな雰囲気の中か  
 情緒あふれる伝統の挙式を  
 新しい人生の門出にお値打ち  
 パックをご用意してお待ち申し上げ  
 ます

#### ◎白梅パック

初穂料金二三七、〇〇〇円也

(税込)

- 一、本殿挙式・花嫁行列・巫女舞
- 二、新郎新婦衣裳各一着
- 一、新郎新婦お支度(基本かつら付)
- 二、記念写真六切二ポーズと式  
スナップ写真をアルバム二冊  
仕上げ



【花嫁行列】



【参集殿御披露宴会場】

#### ◎紅梅パック

初穂料金五六七、〇〇〇円也

(二名様増減二一、〇〇〇円)

(税込)

- 一、白梅パックの内容に二十名様様の  
御披露宴
- 一、和食祝膳・飲み物・奉仕料・メイ  
ン花・両親花束・招待状・芳名  
帖・席表・席札

#### ◎黄金パック

初穂料金六九九、〇〇〇円也

(税込)

- 一、紅梅パックの内容
- 一、新婦衣裳もう一点とお色直し  
一回
- 一、記念写真六切一ポーズとアル  
バムをもう二冊

### 奉賛会入会への お奨めとお願ひ

天神神社奉賛会は、天神神社の御神徳を広め、神社の発展を願って、有志の方々の参加によって組織している集いです。自由参加の趣旨で強制はしていません。

奉賛会では毎年十一月二十三日に、会員の安全を祈願する奉賛会大祭を執行すると共に、総会を開いて会員相互の親睦を深めています。またこの「梅香」を発刊して天神神社の、御神徳を広めることに奉仕しています。

氏子崇敬者の方々に、奉賛会の趣旨にご賛同の方は、ご加入頂きます様お願い致します。

規約等のご案内書は神社社務所にありますので、お気軽にお立ち寄りの上お問い合わせ下さい。

年会費 正会員 金五千元也

特別会員 金壹萬円也

編集室から

◎梅香は天神神社の御神徳を高めるため氏子崇敬者の方々の窓口になるよう活動を進めて参りたいと存じます。

◎御神徳の体験記や、郷土長良に関する事、普公を祀る神社の参拝記、或いは御意見の御投稿をお待ち致します。